

彦根城の世界遺産登録に必要な推薦書(案)の提出に対する市長コメント

彦根市と県が共同で設置しております「彦根城世界遺産登録推進協議会」において、世界遺産登録に必要な推薦書(案)が取りまとめられ、令和 7 年(2025 年)7 月11日付で文化庁に提出されました。

これを受けての市長コメントは、以下のとおりです。

彦根城が世界遺産暫定一覧表に記載された 1992 年以降、私たち彦根市民は、彦根城の世界遺産登録を実に 30 年以上にわたり待ち望んでまいりました。彦根城の世界遺産登録は、まさに市民の悲願です。

この目標の実現に向け、私たちは、国や県と連携しながら、多岐にわたる取組を着実に積み重ねてまいりました。また、市民の皆様や各種団体の皆様にも、世界遺産登録の機運を高める様々な活動にご協力いただいてまいりました。さらに、滋賀県選出の国会議員の皆様、そして彦根にゆかりのある地域の国会議員の皆様にも、文化庁への働きかけをはじめ、多大なご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。

昨年 10 月には、ユネスコの諮問機関であるイコモスより、事前評価の結果が示されました。その中で、推薦戦略を江戸時代の城が示す「大名統治システム」の重要性に置いたことが支持され、あわせて、これまで市民の皆様と行政が一体となって取り組んできた保存・保全の努力、そして彦根城を活かしたまちづくりの実績について、事前評価の段階では、重大な問題はないとの評価を受けたことは、大変心強く、地域にとっても大きな自信となるものでした。

一方で、イコモスからは、推薦戦略に関して多くの有益な示唆もいただきました。私たちはこれらの示唆を真摯に受け止め、文化庁からの懇切なご指導を仰ぎながら、滋賀県とともに着実に作業を進め、このたび、県および市が設置する「彦根城世界遺産登録推進協議会」から、確固たる自信をもって推薦書(案)を提出するに至りました。

この推薦書(案)の提出により、私たちはまた一步、彦根城の世界遺産登録という目標に近づくことができたと考えております。私たちは、今回提出いたしました推薦書(案)を、国の文化審議会において、早期にご審議いただき、国内推薦を決定していただけるよう、心より願っております。

令和7年(2025 年)7月 11 日
彦根市長 田島 一成